





# 第52回 島根県高等学校総合体育大会 ご声援ありがとうございました



### <男子決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	1	2	2	0	2	0	1	8
安来	0	0	0	0	3	0	0	3

### <女子決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	1	0	0	0	1	0	4	6
松江商業	0	0	0	0	2	0	0	2

### <女子準決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
浜田商業	1	0	0	0	0	0	0	1
三刀屋	1	0	0	0	2	0	×	3

### <女子準々決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
大東	1	2	0	0	0	0	0	3
三刀屋	0	3	0	0	1	0	×	4

### <女子1回戦>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
安来	0	0	0	0	0	0	0	0
三刀屋	2	0	1	1	0	3X		7

6回コールド

激戦につぐ激戦、得点だけではわからないでしょうが  
本当に目が離せない激戦だったんです。誉めてやってください!!



初回、三刀屋は藤原魁人(3年)の先頭打者ホームランで相手の出鼻をくじく。

先頭打者HRで主導権握る

## 男子 14年連続26回目

ソフトボール インターハイ(横浜市)男女アベック出場へ

## 女子 3年連続31回目



決勝戦7回表 主将のバットから大量得点へ

- 顧問 藤原孝光(3年)
- 部員 永瀬恭介(3年)、細木剛(3年)、藤原信行(3年)、陶山晋太郎(3年)
- 渡部翔太(3年)、渡部翔太(3年)、渡部翔太(3年)
- 松村研大(3年)、松村研大(3年)、松村研大(3年)
- 横山貴文(2年)、横山貴文(2年)、横山貴文(2年)
- 永瀬敬吾(2年)、永瀬敬吾(2年)、永瀬敬吾(2年)
- 景山優志(2年)、景山優志(2年)、景山優志(2年)
- 安部正昭(1年)
- 梶田啓悟(1年)、梶田啓悟(1年)、梶田啓悟(1年)
- 陶山航平(1年)、陶山航平(1年)、陶山航平(1年)
- 常松瑞希(1年)、常松瑞希(1年)、常松瑞希(1年)
- 藤原弘明(1年)、藤原弘明(1年)、藤原弘明(1年)
- 伊藤達晃(1年)、伊藤達晃(1年)、伊藤達晃(1年)
- 田本泰弘(1年)、田本泰弘(1年)、田本泰弘(1年)
- 大森真帆(2年)、大森真帆(2年)、大森真帆(2年)
- 加納智香(2年)、加納智香(2年)、加納智香(2年)

対戦相手の安来は現3年生中心に2年間不動のメンバーで力をつけてきた。駿馬監督も「この10年間で最も警戒」と口にしてはいたが、先攻の三刀屋は初回表、先頭打者藤原魁人(3年)が3球目をフェンス超えに大アーチを放って先制し、その後も長短打に足を絡めて小刻みに加点。14年連続の優勝を飾った。

燃めく青春 南関東総体2014

男子: 8月7日(木)~11日(月)  
女子: 8月1日(金)~5日(火)

1点を先取。守っては大東戦に続いて先発した藤原が走者を出しながらも要所を締めた。4回裏を初めて3者凡退に退けると、5回表には高橋の二

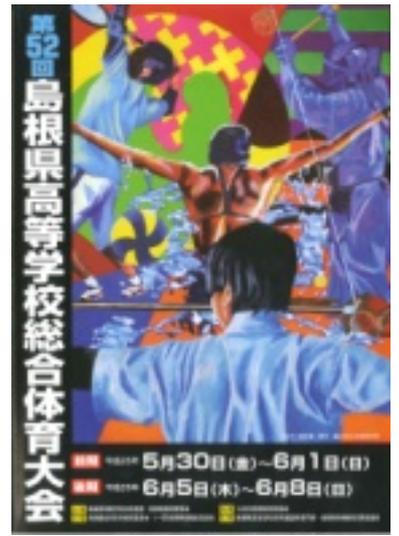
決勝戦の相手は4月の中国大会県予選を制した松江商業。三刀屋は初回、三塁打で出塁した富田を主将の持田がブツシュ気味の内野ゴロで返して

- 顧問 三嶋 広(監督)
- 部員 米田大祐(2年)、藤原桃子(3年)、富田早貴(3年)、小林明日香(3年)、持田 惲(3年)、永瀬耀里(2年)
- 安原美咲(2年)、神門裕香(2年)、高橋笑理(2年)、糸原ひかる(2年)、渡部ほのか(2年)、古田夏帆(2年)、木次美雪(2年)、田島実侑(1年)、加藤千佳(1年)
- 山根七海(1年)、青木真衣子(1年)、板倉知香(1年)、小林大子(1年)、周藤 蘭(1年)、内藤 舞(1年)、永見日奈子(1年)、難波夏里(1年)、高尾美優(2年)

準決勝、準々決勝も緊迫した場面が続いた。特に4月の中国予選で苦杯を喫した相手の大東高との一戦では、序盤に3点をリードされる苦しい展開となったが、一つひとつのプレーを確実にこなして逆転劇に結びつけた。いずれの試合でも守ってはショートの大東が再三の好守を見せるなど、堅い守りで頂点に立った。

全校生徒数(人)		総体エントリー数(人)		
男子	218	468	男子参加	93
女子	250		女子参加	72
		165		

(総体結果の氏名については、敬称を略させていただきます)



### 柔道

(島根県立武道館)

## 男子 団体個人 ベスト8

**奥井 (81<sup>+</sup>級)**  
**小林 (66<sup>+</sup>級)**

男子団体の初戦は対隠岐水産高校。次鋒の定本大地(1年)が一本勝ちすると、中堅の奥井大勢、副将の小林祐太(3年)と連続して抑え込みで勝利してベスト8入りを決めた。

【男子団体】  
 ▼1回戦 三刀屋③・2 隠岐水産  
 ▼準々決勝 三刀屋0・⑤ 出雲工業  
 ▼敗者復活戦 三刀屋2・③ 益田東  
 ※第8位

【男子個人】  
 ▼81<sup>+</sup>級 ベスト8 奥井大勢(2年)  
 ▼66<sup>+</sup>級 ベスト8 小林祐太(3年)



チームを牽引した主将の小林祐太(3年)。益田東との敗者復活戦でも一本勝ち(写真大外刈)をおさめたが、チームは惜敗。

### 卓球

(カミアリーナ)

【男子】  
 ▼団体1回戦 三刀屋2・③ 津和野個人  
 ▼2回戦までで敗退

【女子】  
 ▼団体1回戦 三刀屋0・安来③個人  
 ▼個人複 田部智鈴・中村優華(3年)  
 ▼3回戦進出



女子団体1回戦。ダブルスの太田成美・柳楽紗耶は6連続ポイントで勢いに乗って第1セットを先取したがフルセットの末に惜敗。

### 剣道

(松江市総合体育館)

【男子】  
 ▼団体1回戦 三刀屋1・③ 浜田個人戦  
 ▼景山裕介(3年) 3回戦進出

【女子】  
 ▼個人戦のみ 2回戦敗退



→女子は部員2名で団体戦出場はならなかったが、個人戦での岡田依美(2年)は一本先取されたながらもコテ(写真)とメンの二本勝ちで逆転勝利。三次紗矢(3年)も初戦を突破した。

### ソフトテニス

(松江市総合運動公園)

→総体後半で雨の影響を最も受けたのがソフトテニス。男子個人戦で3回戦まで進出した渡部・木澤組(手前)も、初戦は3時間半の中断を強いられた。



【男子】  
 ▼団体1回戦 三刀屋1・② 隠岐島前個人戦  
 ▼渡部佑輔(3年) 木澤 勝(3年) 3回戦進出

【女子】  
 ▼団体2回戦 三刀屋0・③ 浜田個人戦  
 ▼飯塚真子(3年) 北川真実(2年) 3回戦進出

### バレーボール

(浜田商業高校)

【女子】  
 ▼2回戦 三刀屋②・0 松江北  
 ▼3回戦 三刀屋0・② 松江農林  
 ▼準々決勝進出をかけた相手は、4月の中国大会県予選を制した第一シードの松江農林高校。健闘及ばず敗退した。

### サッカー

(益田高校)

▼2回戦 三刀屋0・② 松江高専  
 ▼三刀屋は前・後半に一点ずつを献上。GK 藤原優大の好

セーブ(写真)もあってそれ以上の追加点を許さなかったが、最後まで一点が遠かった。



### 陸上

(松江市営陸上競技場)

予選通過者  
 ▼女子1500m 決勝 松島菜々子 12位  
 ▼女子3000m 決勝 松島菜々子 9位

男子5000m予選1組。気温30度の中、飯塚悠斗(2年)はレースの序盤を先頭で引っ張る積極果敢な走りをみせた。予選突破はならなかったが、自己記録を更新する走りが光った。



積極果敢に

顧問 和田淳・片山誠  
 部員 小林祐太(3年)  
 三浦航太郎(3年)  
 西村和紀(2年)  
 奥井大勢(2年)  
 陶山拓郎(2年)  
 定本大地(1年)

# 男子 堂々の第3位

バスケットボール

(カメラリナ)



主将の巨勢迅が大会ベスト5に選出された。

【男子】

▼1回戦  
三刀屋 72 - 49 松江南

▼2回戦  
三刀屋 76 - 49 矢上

▼準々決勝  
三刀屋 66 - 58 松江工業

▼準決勝  
三刀屋 65 - 86 松江東

第3位  
21 13 18 13 22 14 13 17  
28 19 14 25 18 12 12 16



男子バスケットボール準々決勝の対戦相手は松江工業高校。4月の中国大会県2次予選では第4Q終盤に再逆転を許して5点差に泣いた。この時は5校総当たり戦で、部員も多く交代要員が豊富な強豪校に有利な大会だった。

総体前の目次監督は、「今回はトーナメント戦なので、絶対に負けない。」と自信を見せていたが、その言葉通り序盤から僅差ながらも常にリ

顧問	目次寿明	松尾優吾 (3年)
外部コーチ	須田晶子	三宅雄大 (3年)
難波一志	高尾清礼 (3年)	若槻克弥 (1年)
稲田隼士 (3年)	塚本成哉 (3年)	富田和彰 (1年)
石田 豪 (3年)	坂田雅弥 (3年)	石原一樹 (1年)
巨勢 迅 (3年)	舟木 武 (3年)	陰山航一 (1年)
佐藤颯哉 (3年)	藤原匠吾 (2年)	松本将弥 (1年)
	森山博康 (2年)	森山麻衣 (3年)
	内田将人 (1年)	鐘撞歩未 (2年)
		加納喜大 (1年)
		マネネ

ドする展開となった。最終第4Q残り4分、攻守の柱3年の和田がファイブファールでベンチに退くと相手ベンチは沸いたが、三高は慌てることなく、あせる相手のミスをかき取り残り3分に59対49と再び突き放すと、勝利を確信したかのように応援席・ベンチはお祭り騒ぎのように沸き(一面写真)、まもなく勝利の瞬間を迎えた。

準決勝、対松江東戦も善戦。後半に引き離されて決勝進出はならなかったが、堂々の第3位に輝いた。



お詫び  
5月10日発行の本紙第84号の中で、男子バスケットボール中国大会県2次予選対松江工業高校戦の得点を誤表記しておりました。正しくは  
三刀屋58・63松江工業松江工業の勝利でした。お詫びして訂正します。

硬式野球は総体競技ではありません

## 出雲地区野球大会 (5/30~31、浜山球場)

野球



## 秋の優勝校と互角の戦い (対大社)

<1回戦>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
出雲北陵	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	13	3
三刀屋	0	2	0	0	0	5	0	0	×	7	8	1

<準々決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
三刀屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
大社	0	0	0	0	1	0	0	0	×	1	6	2

来月に迫った夏の大会を勝ち上がっていくには、今大会のように守りの安定感が求められる。大きな収穫だった。出塁してからの走塁ミスやサインの見落とし等、今回の反省材料をもとに万全の調整を目指してもらいたい。

狙う



恩田校長が自前で準備した応援フラッグ



2014

第52回島根県高校総体アルバム

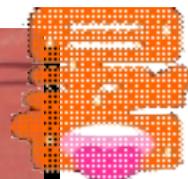
ドン・ピシャ



もらった



懸命



い!  
熱い闘い!



5月30日(金)16:00スタートの男子5000m。ゼッケン456番は陸上部主将の藤原夏望。夕方近いこの時刻になっても松江市宮陸上競技場は29℃の暑さ(最高気温32℃)。トラック内はもっと暑く、前期総体は炎天下での熱戦が続いた。

一本



力強く



まかせる



一球入魂



祈る



涼

確実に



広島地方気象台は6月4日(水)、山口県に続いて中国地方全域が梅雨入りしたとみられると発表した。5日(木)からの後期総体に文字通り水を差す悪天候となった。5日の松江の最高気温は19℃。前週の酷暑より10度以上低くなった。

# 注目 島根県連 根文 高

勝敗を決する体育系の部活動に対して、文化部は順位や賞を競う活動ばかりではない。このため何をやっているか分からないとの声も少なくないが、県総体の期間と重なる5月末から6月上旬にかけては毎年、高文連の各専門部でもコンクールのほか、フェスティバル・講習会等さまざまな行事が催されている。

## 書道

### 高文連書道コンクール兼講習会

(5/29~31、三瓶青少年交流の家)

# 三瓶で2泊3日の書道合宿

5月29日からの3日間、大田市の三瓶青少年交流の家で開催された標記コンクール・講習会に県内17校から146名、本校からも書道部員3名が参加した。

初日に施設内の武道館で揮毫した作品(臨書課題・創作課題より選択して2点制作)を対象にしたコンクールでは、妹尾有真さん(1年)の作品が特選に選ばれ、さらに特選の中でも秀でた作品の一つとして講習会の中で紹介された。他の二人の作品も秀作に選出され、人数は少ないものの、本校書道部の実力が高く評価され、部員にとっても大きな自信となった。今回の書道合宿ではこのほか、ろうけつ染(写真上)や交流会(書道クイズ)も組み込まれ、充実の3日間となった。



- ▼書道コンクール審査結果
- 特選 妹尾有真(1年)
- 秀作 神田亜林(2年)
- 秀作 廣澤真奈(2年)

## 美術

### 出雲地区高校美術講習会

出雲地区10校から136名参加

# 美術講習会

出雲地区美術講習会が5月29日から3日間、出雲市小境町のサン・レイクを宿泊地として開催され、出雲地区10校から136名、本校からは美術部員23名が参加した。

風景写生(油彩・水彩)、花の静物画(日本画)のいずれかを選択し、一畑電鉄駅と一畑薬師の2か所の会場に分



無題 景山大輝(2年)

かれ、思い思いの場所を選定してキャンバスに向かった。日中の延べ15時間ほどをかけた力作は、最終日に各校の先生に講評していただき、澁谷

柚香さん(3年) 景山大輝さん(2年)の風景画も好評を得た。参加生徒も互いの作品を鑑賞・批評しあい、刺激の多い有意義な3日間となった。



催された。小学校から高校まで36団体が出演。本校吹奏楽部は、夏のコンクールでも演奏する予定の課題曲Ⅱ「勇気のトビラ」(高橋宏樹作曲)を披露し、会場から大きな拍手が贈られた。1年生12名が入部して現在は37名で活動する吹奏楽部。2ヶ月後に迫った夏の吹奏楽コンクール(益田市)に向け、益々練習に熱の入る暑い夏を迎える。

# 吹奏楽 小学校から高校まで36団体が出演

## 吹奏楽

### 第49回出雲地区吹奏楽祭

(6/7、出雲市民会館) 島根県東部地区吹奏楽祭が6月7日、出雲市民会館で開

替えたり、原則月曜日に地元の特養老人ホーム梅里苑への慰問を続けている。毎年この時期は原爆記念日を前に、平和を祈念する千羽鶴を被爆地の広島・長崎に送る準備もすすめている。

来週は、県内各高校のJRC部員が一堂に会する春季協議会に参加する予定だ。

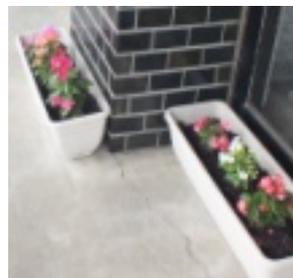


## JRC

Junior Red Cross 青少年赤十字



部員8名が職員玄関前と昇降口のプランターの花を植え



玄関前のプランター



一畑電鉄の一畑口駅(スイーツバックで有名)のホームで筆を走らせる本校部員。

写真右はろうけつ染め作品



↑交流の家の武道館を会場に作品を仕上げる参加者。手前は妹尾さん(1年)の作品。

箏曲

外部講師の日之蔵智子先生(本校卒)にご指導いただき



管理棟2階の部室で

今年度から松江地区で開催します

文化部はコラボを大切に、つながる縁で躍動します

のは週一回だが、部員は自主練を含めて平日はほとんど毎日練習に励んでいる。今年7名の新入部員が加わったほか、経験者の周藤友子教諭(家庭科)の指導もあり、例年以上に熱のこもった練習が続く。全員が高校入学後に琴をはじめするため、一年生を含めた演奏は文化祭が初の大舞台となる。また、次年度の全国高等学校総合文化祭への出場権をかけたコンクール(高文連日本音楽部門)が秋に予定されており、そこでの演奏が今年の大きな目標だ。

茶道

三齋流の福岡喜代美先生をお招きして、玄関前の「蒼雲館」和室で月2回程度の活動を行っている。

箏曲・茶道・華道部のコラボ



学園祭だけでなく、各文化部がコラボしての発表会も楽しみです。市内各学校や地域の皆様とのコラボもお願いします。

華道

華道部は月一回、池坊流の先生をお招きして活動している。



下の写真は、春休みに木次町のチェリバホールのロビーで行った文化部の合同展。市内中学生の美術作品も並びました。



写真

高文連写真専門部は、春と秋の年2回のコンクールを行い、両コンクールで特選となった作品が一堂に会する県高校写真展を年末に開催する。今年も春季写真コンクールを本日開催し、本校部員も参加している。また、秋には専門部主催の各校合同の写真技術講習会も予定されている。



高文連事務局が浜田高校から松江工業高校に移り、7月の島根県高校文化フェスティバルは今年から松江開催となります。

文芸

第29回全国高等学校文芸コンクール

部員以外の個人出品も可能ですヨ

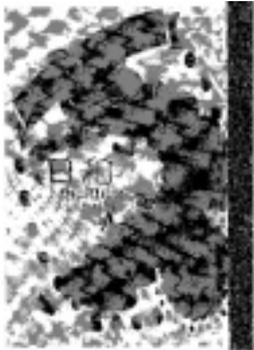
募集 8月20日〜9月17日  
表彰 12月13日

今の時期、文芸部は小説をメインに標記コンクールへの出品をめざして創作活動を続けている。

全国高文連・読売新聞社が主催する同コンクールは、小説・文芸評論・随筆(エッセイ)・詩・短歌・俳句・文芸部誌の7部門を募集するが、個人での応募も可能だ。顧問

の保科教諭は、「文芸部に入っで一緒に創作を楽しみませんか。兼部もまったく問題ありません。入部はちょっと迷っている人も、個人資格で応募できます。応募のお手伝いもしますので、気軽に相談に来てください。」とのことだ。

三高祭(学園祭)では、部員の力作を集めた文芸部誌「日和(ひより)」を発行することになっている。



昨年度の文芸部誌「日和」全66頁の力作

放送

第50回島根県高校放送コンテスト

地区予選を経て藤原さん出場(朗読部門)  
同点ながらも東京行きを逃す(研究発表部門)



48名)を5位通過した藤原香玲羅さん(2年)が出場した。



第50回島根県高校放送コンテスト

藤原さんは指定5作品の中から阿川佐和子著「残るは食欲」の一節を選び、表現力豊かに2分間の発表にのぞんだ。残念ながら東京代々木のNHKホールで開催される全国大会出場は逃したが、まだ2年生。来年の再挑戦を期待したい。例年はラジオ・テレビの番組4部門への出品も多いが、

今年は部員不足もあって断念したが、研究発表部門には板持孝祐さん(2年)が中心となって「テープ時代の編集機の再利用」を出品した。5分構成のパワーポイントで、古い機材を利用し撮影と同時に編集を行う便利で時間短縮の作業方法を紹介した作品だ。

2枚。審査員による総得点は何と某校と同点2位となったが、細則によって東京行きを次点で逃してしまった。昨年の3年生7名が卒業して現在は1・2年生3名で活動を続けている。新入部員を確保して活動の幅を広げたいところだ。

放送コンテスト松江地区予選

アナウンス部門出品原稿

板持 孝祐(2年)

今週の話題は風呂敷です。風呂敷と言えば昔は使われていたけど、今ではその役割を鞆に奪われて、ほとんど使われていないイメージがあります。

ところが、物理の花岡先生(写真)は鞆ではなく風呂敷を使っています。しかも、「古いものを持ち歩いているというより、最新技術を持ち歩いている。」と



水を包んで運ぶことができているのです。その性能を生かして、もしもの災害時には飲料水の確保をすることが

文化部門の全国大会・コンクール

メモ

文化部門の全国大会は様々な文化祭が夏に開催される。数年前に自然科学部門が加わって現在19の公式部門で大会が行われるが、主催する全国高文連が誕生したのは、実は昭和61年と比較的遅い。

それ以前から全国大会開催を続けていた部門が多く、スタートが遅かった全国高等学校総合文化祭では交流を第一として競技やコンクールを行わない部門が少なくない。例えば吹奏楽部門は順位や賞が一切ないフェスティバル形式をとり、部員にとっては直後の全日本吹奏楽コンクールが年間最大の目標となっている。

なお、全国高等学校総合文化祭への出場権は、一部の競技系部門(囲碁・将棋等)を除いて前年秋の県内大会の結果を受けて決まる。

風呂敷は鞆と違って、中に入れるものに形を合わせて包めるので、非常に持ち運びがしやすいというメリットがありました。その合理的な理由から、裁判の検察官は今でも証拠品や資料を持ち運ぶ時に使っています。一見古いと思われるがちな風呂敷は、未来への可能性も抱んでいました。

部員個別の全国コンクールのほか、今や「〇〇甲子園」も多岐にわたるが、今年で58回目を迎える全国学芸サイエンスコンクール(旺文社主催)は全国の小学校から高校までの2千校から11万点が出品される大きなコンクールとして知られる。審査員にも各分野の著名人が配される。自然科学・人文社会科学・書道・美術・写真・文芸等について細かいジャンルに分かれて作品が募集される。生徒の皆さんも一度、公式サイトを確認してみてください。学校を刺激になるはずだ。学校を通じた個人応募も多い。

紙面の都合により、以下については次号以降で紹介いたします。

- ESS
- 合唱同好会
- パソコン同好会
- ダンス同好会

自然科学

次年度の全国高校総合文化祭自然科学部門大会への出場権をかけたコンクールは11月に開催される。

なお、来月には県内高校の理系生徒が集う「益田サイエンスタウン」への参加を予定している。文科省のSSH(スーパー・サイエンス・スクール)の指定を受ける益田高校が主催する事業で、一流講師陣も迎えて科学に関する各種教室

演劇

高文連演劇講習会

(ワークシヨップ)

(6/5~6、県民会館)

県内15校から百名を超える演劇仲間が松江市の県民会館



に集い、2日間にわたって音響・舞台・照明について県民会館スタッフから実践的な指導をいただいた。また掛合分校の亀尾佳宏教諭(昨年度まで三刀屋高校演劇部顧問)を講師に、各校演劇部のキャストは演出・演技力向上のため実践的講習にも臨んだ(写真)。

なお、掛合分校でも演劇活動が本格始動したらしい。雲南市の演劇活動の裾野がますますひろがっていくことだろう。

やサイエンスショーを楽しむ。グラントワ大ホールのステージでは、今年も学校対抗の「ゆつくり落としてみよう」に挑戦する予定だが、まずは高所恐怖症の克服が必須らしい(写真参照)。



昨年の科学チャレンジ「ゆつくり落としてみよう」(グラントワ)



# 10周年を迎えます/総合学科 & 雲南市制 90周年を迎えます/学校創立

シリーズ

## 三高新時代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

## 地域とともに

第2回

1年「地域産業研究講話」

地域に目を向けるきっかけ作りに

### 雲南市の魅力と課題について考えました

講師/渡部 喬 氏 (雲南市産業振興部産業推進課)

須山雄介氏 (雲南市政策企画部政策推進課)

三刀屋高校総合学科は、生徒一人ひとりが将来の目標を自ら設定し、社会に貢献するための総合的な力を身につけることを目標としています。1年次には「産業社会と人間」という総合学科ならではの科目を設定していますが、今年度からは、地域や地域産業に目を向けて学びを深める取り組みを「地域産業研究」と称

し、年間プログラムを再構築しました。



今回はそのスタートにあたっての講話を雲南市職員の渡部喬氏と須山雄介氏にお願いし、「雲南市の魅力と課題」「雲南地域の産業について」等をテーマにお話しいただき、現に進行中の政策についても紹介してもらいました。

講話を受けた後のワーク「地域の強みと弱み」では、生徒それぞれが雲南の誇りとなるものとして課題を再確認して発表する場面もありました(写真)。



学校全体としての取り組みは行いませんでしたが、いくつかの部が参加報告してくれました。

	雲南市	沖縄県南城市
登録人数	41,506人	41,745人
参加者数	23,781人	19,536人
参加率	57.3%	46.8%



その① 雲南市木次町上熊谷中の段地区を流れる斐伊川の昭和40年代前半までの写真。川べりに砂浜が広がる写真を探しています。子どもたちが水遊びする写真はありますか?

その② 奥出雲町の鬼の舌震で、昭和50年頃まで?就航していた観光遊覧船の写真。

※プリント、ネガ、電子データ何でも結構です。

### あれから50年



来月でちょうど50年を迎える。東京オリンピック開催3か月前の1964年(昭和39年)7月、梅雨末期の梅雨前線の停滞による集中豪雨が島根県内に甚大な被害を及ぼした。斐伊川本流の決壊こそなかったものの、支流の赤川や久野川は各所で決壊し、加茂町中心部は目の前の赤川が溢れて決壊し、土手よりはるかに低い加茂中の街並みを呑み

### 斐伊川今昔物語 第1回

#### 赤川決壊/昭和39年7月豪雨

『たたら侍(仮称)』を勝手に応援する新シリーズ

矢印の先に見える土塚の横線は、昭和39年7月19日に加茂中を水没させた洪水の浸水ライン。甚大な被害にもかかわらず死者を出さなかったのは、有線放送本部と郵便局の交換手が不眠不休で避難呼びかけを続けたことが大きかった。自らも危険な状況の中で多くの人命を救った4名の若い女性職員の姿は、翌年から小学5年生の道徳の教科書で「濁流の中からさげふ」と題して紹介された。

込んでいった。赤川下流域の加茂町は、実は江戸時代から洪水との闘いの連続だった。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

斐伊川上流域では、砂鉄を原料として鉄塊を造るたたら

おことわり: 斐伊川水系の一級河川とは斐伊川本流だけでなく、宍道湖や中海を通じて日本海に出水する河川すべてを含みます。斐伊川と同様に鉄穴流して天井川となった安来市の飯梨川、伯太川も斐伊川水系の一級河川です。本シリーズでは、奥出雲地方のたたら製鉄及び鉄穴流しの影響を受けたこれらの河川流域についても紹介いたします。

製鉄が江戸時代初め頃より生産を急速に拡大した。中国山地沿いは良質の砂鉄分を含む花崗岩に恵まれ、その山肌を崩し水路に流し込んで砂鉄を沈殿採取した。これを鉄穴(かんな)流しと呼ぶ。ただ、土砂中の砂鉄分はわずか1%程度であり、不要な99%の土砂は下流へと流した。莫大な排砂は斐伊川を流れ下り、河川勾配が緩やかになる木次町の段地区(西日登小学校の向かい側)辺りからは砂の堆積が顕著となり、さらに木次町中心部の桜土手(若狭土手)付近からは、堆砂によって河床(川底)が周辺の土地や家屋より高い「天井川」と化した。鉄穴流しによって河床は年々

上昇を続け、洪水防止のためには土手を高くする工事を行い、市街地からは土手をはるかに仰ぎ見る状況となった。赤川上流域でも鉄穴流しが行われたが、斐伊川の河床上昇スピードがはるかに速く、洪水時には斐伊川の水が赤川に逆流する有様だった。現在の赤川最下流部は、斐伊川の尾と呼ぶが延び、河床の高さが同じになる地点で斐伊川に合流する。江戸時代末期の治水工事にはじまる先人の知恵と苦勞のお陰だ。

このように見ると、鉄穴流しは負の遺産しか残さなかつたかのようだが、決してそうではない(次号へ続く)。

### 毎年6月23日～29日は 男女共同参画週間です



平成26年度の全国標語「家事場のパパチカラ」

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、国民のみならず一人ひとりの取組が必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか?  
(内閣府男女共同参画局HPより)

本紙第83号(4月9日付発行)でジェンダー川柳を募集しましたが、残念ながら応募が極めて少ない状況のため、募集期間を延長して6月末までとさせていただきます。

- 生徒・教職員およびPTA会員の皆様を対象にジェンダー川柳を募集します。(コンクールではありません)
- ジェンダーとは、「男らしさ」「女らしさ」など、性別にもとづいて違う行動パターンや能力を期待するといった社会的につくられた男女の区別のことをいいます。身近な暮らしの中で「女のくせに…」「男なんだから…」と言われて「おかしい、変だ」と感じた事などを五七五の川柳にしてみてください。
- 事例は4月9日発行の本紙第83号に紹介してあります。参考にしてください。応募用紙の様式は問いません。作品を総務部編集長までお寄せください。

## 校内ジェンダー川柳の募集を延長します



今年2月にも来ていただいた岩田教授に松江キャンパス総合文化学科の紹介や共通科目「読み聞かせ」の取り組み、「おはなしイラスト」にかかわった学生や子どもたちの「学びの育ち」についてお話ししていただきます。絵本の楽しくて驚きっぱいの秘密も

聞けるはずですが、ゼミの学生さんによる読み聞かせもあります。保護者の皆様にはすでにお子様を通じてご案内しておりますが、詳細については図書・人権・同和教育部までお問い合わせください。

## 三刀屋高校からの お知らせとお願い

### 1

#### PTA研修会の「案内」

#### 演題 『図書館がっつなく学びの輪』

講師/岩田 英作氏(島根県立大学短期大学部教授)

7 / 1(火)  
14:00~16:00



学校だより版  
本校図書館は、文部科学省委託事業「平成26年度確かな学力の育成に係る実践的調査研究」②学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」の指定を受け、従来からの活動の上に、キャリア教育を一つの柱とする総合学科の学びを支援する活動を続けています。

### 2

#### 生徒が図書を選定しました



中間試験最終日の5月16日、図書委員の5名が出雲市高岡町の今井書店で購入したい図書(5万円分)の選定作業を行いました。生徒自らが高校生活に必要な図書を選ぶ図書委員会の恒例行事です。

## 奨学金のご案内です



### 1 平成27年度日本学生支援機構大学等奨学金(予約)

担当:総務部(須田)

本日6月13日の3年生保護者進路ガイダンスでもご説明を予定しておりますが、概要をご確認ください。必要書類の提出期限を今月25日(水)としておりますのでご注意ください。

- 募集対象・国内の大学・短大・専修学校専門課程への進学後に奨学金を希望する人(専修学校によっては取り扱わない場合もあります)

#### ■奨学金の種類

- 第一種奨学金 無利子の奨学金(貸与)です
- 第二種奨学金 有利子の奨学金(貸与)です
- 入学時特別増額貸与奨学金(有利子貸与)
- ※入学前に奨学金を借りることは出来ません
- ※第一種奨学金と第二種奨学金の併用希望も可能です

現3年生が対象です

### 2

#### 公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部 高等学校等給付奨学生募集 → 返還義務のない奨学金給付事業です

全学年対象です

#### ■応募条件

- 1) 家庭の事情により、学費支払いが困難と認められる者
- 2) 向学心に富み、かつ学業に耐えうるもの
- 3) 校長の推薦を受けたもの(原則として各高校1名以内)
- 4) これまでに、この奨学金を受けていないもの

#### ■給付内容

- 1) 給付額 一人当たり 15万円
- 2) 全県で40人 三刀屋高校から1名推薦

#### 3) 原則として返還の必要はありません

- 複数の応募者があった場合は校内で選考し、一名を推薦します。選考にあたっては経済面を重視します。
- 応募必要書類提出〆切は6月23日(月)です。提出書類が数種類必要ですが、「市町村長が発行する同一生計家族の所得証明書」も必要となります。ご希望される場合には、早めにご準備をお願いいたします。まずはお子様を通じて願書を総務部(担当:曾田)までご請求ください。

日	曜	学校行事等	部活等
1	火	期末試験最終日	
2	水	地区P木次	
3	木	防犯教室 地区P飯南、掛合、吉田	
4	金	壮行式 地区P三刀屋、奥出雲	↑ 自然科学
5	土	3年進研記・就職公務員模試	↓
6	日	3年進研模試 第1回英検2次	吹奏楽
7	月		
8	火	学園祭LHR 地区P大東・加茂	
9	水	球技大会 第2回PTA生活指導委員会兼人権・同和教育推進委員会	
10	木	3年進路講演会	
11	金	1・2年進研学テ 第1回漢検 高P連中四国大会 閉寮	
12	土		吹奏楽
13	日		開寮 陸上
14	月		
15	火	学園祭グッズ集会	野球(～26)
16	水		
17	木		
18	金	6限授業	↑ ソフトテニス
19	土	3年全統M模試 学研常識テスト SPI入門テスト 看護医療模試	↓
20	日	3年全統M模試 PTA木次地区パトロール	
21	月	海の日	
22	火	特別時間割(～25) 3年三者面談(～31) 1・2年保護者面談(～25)	
23	水		
24	木	PTA会報発行	
25	金	終業式 学園祭分団集会 PTA三刀屋地区パトロール	
26	土	桐原小論文模試	演劇
27	日		演劇
28	月	3年生夏期補習(～8/1)	

日	曜	学校行事等	部活等
14	土	3年進研M・就職公務員模試	ソフトボール国体予選(本校)
15	日	3年進研M模試	
16	月		
17	火	2年進路講演会	
18	水	2・3年眼科検診	
19	木		
20	金	芸術鑑賞 試験発表 閉寮	
21	土		
22	日		開寮
23	月	ｽｰﾌﾟ再検査	
24	火	生徒総会	
25	水	ｽｰﾌﾟ再検査 職業人講演会	
26	木	6/28の振替休業日 学校開放	
27	金	期末試験1日目	
28	土	期末試験2日目 大学等説明会	
29	日	学校開放	
30	月	期末試験3日目	



中学3年生の皆さんのお越しをお待ちしています

# 三刀屋高オープンキャンパス

8:45 受付  
9:10 全体説明  
生徒発表  
模擬授業  
部活動見学  
12:15 アンケート記入



## 私たちに続け未来の三高生

今年も三高ビジュアル系美男美女(不確実情報)

468名

平成16年度総合学科創設以来、地域の公共団体、事業所、保護者の皆様等のご支援とご協力を支えとして、インターンシップをはじめとする数多くの体験学習やプレゼンテーション等の表現活動を通じて、適正な職業観・勤労観の育成を目標とするキャリア教育を実施してきました。10年にわたる活動が県内外から高く評価される中、平成25年2月に晴れて文部科学大臣表彰を受けました。

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校  
(平成25～27年度県教委指定)

※高校を拠点に、小中学校および地域との連携強化  
地域ぐるみで人材を育てるキャリア教育モデルの創出

- 1年次 フレッシュマンセミナー(職業調べ)  
科目「産業社会と人間」  
事業所インターンシップ(地域産業研究 実習)  
アゲミックインターンシップ(大学訪問)  
ライフプラン作成
- 2年次 アゲミックインターンシップ  
班別自主研修(東京、大学・企業訪問も)  
課題研究(テーマキーワード調べ)
- 3年次 課題研究(テーマ別小論文作成、プレゼン)

### 三刀屋高校 総合学科

地域に支えられて10年

## 文部科学大臣表彰

平成24年度キャリア教育優良学校



充実の東京研修

インターンシップ受入れ事業所は60箇所以上

SINCE 1924 三刀屋高校はお陰様で創立90周年/10月4日(土)創立90周年記念式典

# 東京研修(2年10月)への関門 視察希望先の大学・事業所等へアポ取り

10月に3泊4日で行った2年生の東京研修の準備が進められている。研修2日目の班別研修では企業や大学を視察することとなっているが、その訪問先も各班ごとに生徒が自主的に張り切って考える。例年、よくぞそんな所に受け入れてもらったなどと感心するケースが多い。

先日は、その研修希望先に何の根回しもない状態で、受け入れをお願いするアポ取りの

突撃電話をかけることとなった。高校生からの突然のお願いに、即答を控える事業所(多くは有名大企業)が多いのは当然だが、最終的に断られると一瞬へこんでしまうこともしばしば。それでも生徒は次なる希望先に挑戦し、苦勞して内諾を得るからこそ当日の訪問が待ち遠しくもなる。



生徒が低頭せず、手元を思いっきり見つめながら受話器を手に緊張感を持って話している。

珍しくはないが、事前の根回しもない突撃電話での依頼は全国的にも珍しい。キャリア教育に関する東京での教員研究会でも話題になった。

**ガウカウ!!**  
**無施錠不致**

自転車無施錠

4月以来、自転車の盗難被害が続いている。学校で、買い物途中で、自宅で、...。例外なく無施錠の自転車だ。一番悪いのは窃盗犯だ。学校やその周辺は、最も安心・安全な場所ではなくてはならない。ただ、現代社会においてはこんな田舎でも、自己防衛や犯罪抑止のために身につけるべきモラルがあることを学習してもらいたい。汚いところにはごみのポイ捨ても多くなる。同じように無施錠の自転車が多い駐輪場では、無断寸借も多くなるようだ。4月以来、生徒指導部から度々の注意呼びかけがあったにもかかわらず、6月に入っても学校の自転車小屋に無施錠の自転車があることが信じられない。がっかりだ。この学校だよりは一般市民の目にも触れる機会が多い。こんな記事を掲載するのは断腸の思いだが、次号では「打てば響く三高生」の見出しを準備したい。

三高に赴任して2か月半。打てば響く三高生に数多く出会ってきた。打てば響く三高集団の相互影響力で無施錠の自転車はなくなることを期待する。(編集長記)

# さんこう 三高90年物語

## 第2回 県知事への壇上陳情 S. 34 新体育館&教室棟建設へ



松江藩から奥出雲のたたら経営の統括責任者である

鉄師頭取に任じられた御三家が奥出雲町の糸原家・桜井家と、雲南市吉田町の田部家である。田部家の当主は代々長右衛門の名を襲名するが、第23代田部長右衛門氏に縁の品が三刀屋高校にいくつが存在する。応接室に掲げられた書「和敬」「和而不流」、会議室の「鍛心」のほか、校地の入り口で最初に目にする枝垂桜(写真)も同氏から寄贈されたものだ。現当主の祖父にあたる第23代長右衛門は、昭和34年から3期12年、高度経済成長期に島根県知事をつとめた方である。

### ◆◆◆◆◆

昭和34年10月、学校創立35周年と新制高校発足10周年を祝う記念行事が5日間にわたって続いた。男女共学でありながら、なお「我が雲南の健男児」と歌っていた校歌を時代にふさわしく現在のように変更したのもこの時だ。

### ◆◆◆◆◆

さらに当時の飯塚一雄校長(旧制三刀屋中学1期卒)は、記念式典の式辞で本校の歴史を述べた後、来賓の田部長右衛門島根県知事に

### ◆◆◆◆◆

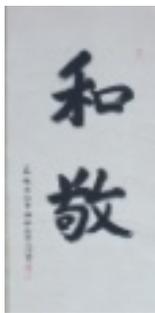
対して老朽校舎の全面改築をその場で陳情した。これに対し田部知事は直後の祝辞で「私の在任中に必ず実行する。」と述べ、出席者の万雷の拍手を浴びた。これがいわゆる「壇上陳情」で、後々まで語り継がれることとなった。

### ◆◆◆◆◆

団塊世代の高校入学が迫ってきた時期であり、本校もさまざまな対応が迫られていた。昭和37年度に1学級増、翌38年度に家庭科の生徒募集の停止およびその代替と生徒急増対策のために2学級の増設が行われ、1学級55人・学年6学級時代を迎えた。

### ◆◆◆◆◆

紙幅の関係で詳述は控えるが、まず新体育館が昭和39年半ばに竣工。7月18日



39年半ばに竣工。7月18日

工したのが昭和44年。この年の入学生275名は、今春60歳定年を迎えた高校24期の皆さんだった。翌45年度中には管理棟も竣工し、46年11月には校舎全面改築を祝う竣工式典が、田部前知事をはじめ来賓多数をお招きして盛大に挙行された。残る柔剣道場が竣工したのは、「まだ普通の走りの恩ちゃん」が入学してきた47年のことだった。

県総体お疲れ様でした。後半はあいにくの天気となり、外での競技はコンディションを整えるのも大変だったと思います。▼浜田、益田方面の競技を取材することができず申し訳ありませんでしたが、今後の大会についても保護者の皆様からの積極的な画像提供を期待しております。▼なお、総体結果については生徒会発行「Saikeo-Now(三高ナウ)」もあわせてご覧ください。代表生徒のコメントも掲載しています。▼本紙は毎号学校ホームページにもPDFでカラー掲載しています。WEB用に解像度を落とすとしていきます。不鮮明な画像や文字化けがありますことをご了承ください。

後半はあいにくの天気となり、外での競技はコンディションを整えるのも大変だったと思います。▼浜田、益田方面の競技を取材することができず申し訳ありませんでしたが、今後の大会についても保護者の皆様からの積極的な画像提供を期待しております。▼なお、総体結果については生徒会発行「Saikeo-Now(三高ナウ)」もあわせてご覧ください。代表生徒のコメントも掲載しています。▼本紙は毎号学校ホームページにもPDFでカラー掲載しています。WEB用に解像度を落とすとしていきます。不鮮明な画像や文字化けがありますことをご了承ください。

(編集長記)

